

元白川小跡地有効活用提案



京都市の施策

1. 地域と社会の多様なつながり作りの推進
2. 上質な宿泊施設の誘致
3. 歩いて楽しい<まち>、個性と魅力ある<まちづくり>の推進
4. イノベーションによる付加価値の追求、創発の支援
5. 伝統的街並みに調和する建造物の推進
6. 公共財産活用での新たな税収機会の創出

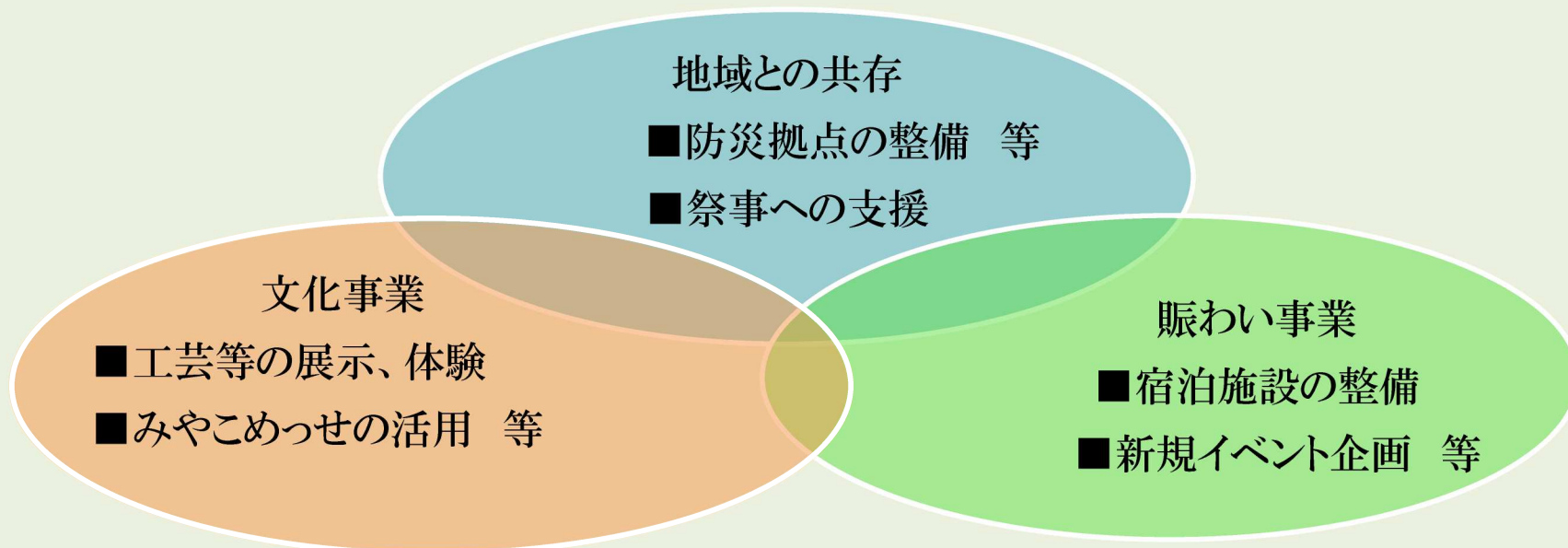
地域の課題・要望

1. 高齢化による<まち>の活力低下
2. 空き家と民泊の急増
3. 祭事等の担い手不足、剣鉾等の格納場所不足
4. 伝統工芸(陶工、刀工等)の担い手不足
5. グランド、体育館での従来通りの自治活動の継続
6. 地域の防災拠点としての整備
7. 粟田神社及びその祭事の支援と、魅力の発信



地域との共存を重視し、文化事業と賑わい事業を融合した文化複合施設 「ミュージアム・ホテル」

当施設のコンセプト



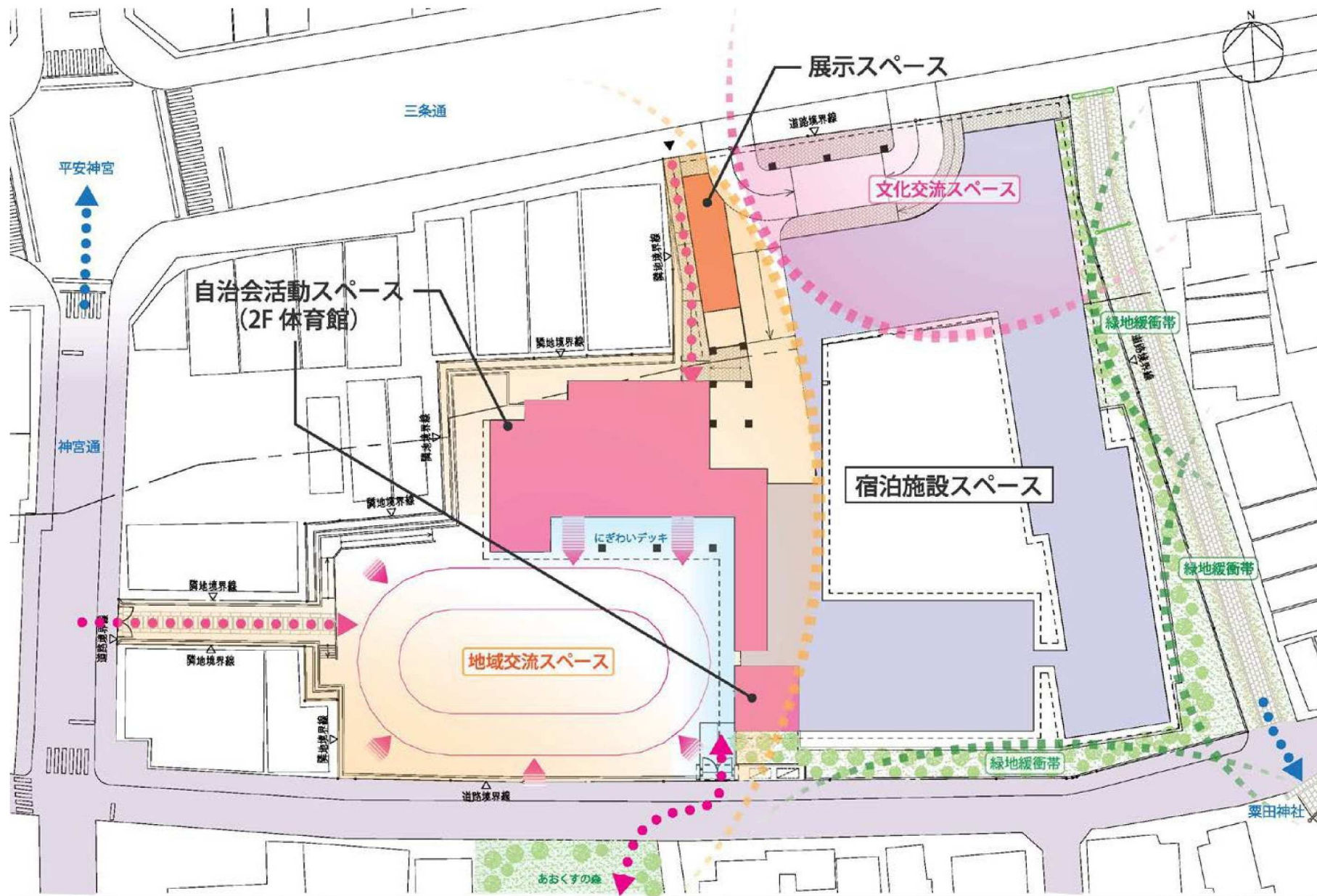
延床面積 :12,770㎡(予定)
構造 :鉄筋コンクリート造・鉄骨造(予定)
規模 :地上5階・地下1階

整備予定機能 :ギャラリーショップ、図書館、
自治活動スペース(体育館等)
宿泊施設

自治活動棟

宿泊施設棟





- グラウンドを「コミュニティ・ガーデン」として再整備
- グラウンドに併設して、半屋外空間である「賑わいデッキ」を整備
- 運動会、防災訓練、粟田祭などの地域イベント開催に寄与

■賑わいデッキイメージ



■コミュニティ・ガーデン



【文化事業】

- ホテル内にはギャラリーショップを設置予定
- その他、客室、ロビー等に京都の伝統工芸品を展示予定



【賑わい事業(宿泊施設)】

- 観光拠点としての立地ポテンシャルに着目、長期にわたる安定運用を企図し、宿泊施設を運営

【宿泊施設の運営方針】

- アッパーミドル層をターゲットに上質で洗練された寛ぎのひとときを提供
- 客室数は200室程度を想定
- 本件地の立地特性を生かし、周辺に調和する施設を運営できるオペレーターを選定
- 信用力の高いオペレーターと長期契約を結ぶことにより、安定した運営を実現